

金沢区制50周年記念事業

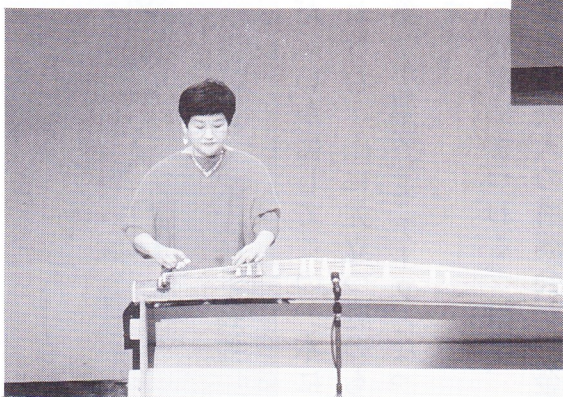
邦楽のしらべ

金沢区文化協会 3周年記念



宮崎孝子氏

- ・ 沢井箏曲院教授
- ・ 沢井忠夫合奏団メンバー



眞玉和司氏

- ・ NHK文化センター講師
- ・ 国際尺八研修センター主任講師

金沢区文化協会

編集人 岩瀬 昭二
 広報部長
 ☎ 701-0795
 発行人 森下 春陵
 会
 ☎ 783-1025

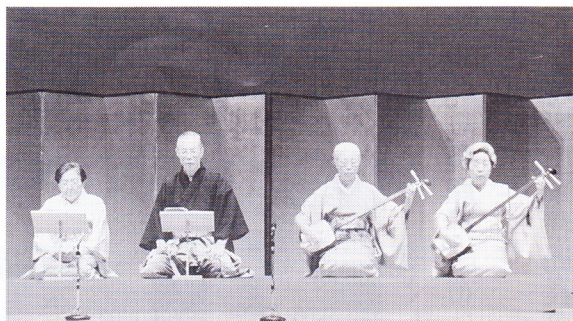
平成十年二月一日(日)。

一連の金沢区制五十周年記念事業の幕あけとして、金沢公会堂において金沢区文化協会三周年記念コンサート、『邦楽のしらべ』が開催されました。

第一部邦楽の四季には、金沢区文化協会会員の邦楽家、邦舞家が出演しました。

箏曲・尺八・日本舞踊・長唄・津軽三味線等、バラエティに富んだ内容でした。

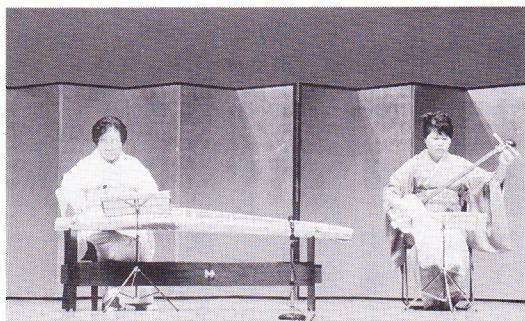
又、第二部は、区民の皆様にも身近で邦楽のよりよい演奏を楽しんでいただきたいという趣旨から、横浜在住の眞玉和司氏



岸の柳

(琴古流 尺八演奏家)と、宮崎孝子氏(生田流箏曲)のお二方をお招きしました。公会堂という多目的ホールでのコ

「夢中で聞いていて、三時間があっという間でした。」などの感想がもれ、聞こえ、スタッフ(次頁下段)



尾上の松



お祭り

ンサートのため、バランスのよい音響を求めたのP・A・の調整、色々なジャンルの合同による舞台転換の煩雑さを、

「すばらしかった」「迫力のある演奏に感激しました」

文化講演会

『冷泉家の伝統と文化』

NHK・区役所と共催



冷泉 貴実子氏

平成九年九月二十四日(水)

午後二時より、金沢公会堂に冷泉貴実子氏をお迎えして、文化講演会「冷泉家の伝統と文化」が開かれました。

京都冷泉家は、平安・鎌倉時代の歌人藤原俊成・定家を祖先に持つ名家です。

俊成以後明治維新まで八〇〇年の長きにわたり、宮中に仕え、その伝統を守りつづけ、今に伝えられています。

金沢の地にも足跡を残しており、称名寺が舞台となっている「六浦」では、冷泉為相卿が



この催しが金沢区の一回来ただけのこともあり、前評判が高く、金沢区以外や東京か

詠んだ「いかにしてこの一本にしがれけむ 山に先立つ庭のみみじ葉」が重要なモチーフとなっています。

この故事にまつわるご縁で、冷泉家当主夫人の講演会が、金沢区で開かれることになりました。

NHKが上野の東京都美術館で開催中の「冷泉家の至宝展」にタイ・アップの形で、NHK横浜放送局・金沢区役所、それに金沢区文化協会の共催で準備が進められました。

らも問い合わせが区役所に来ているので、整理券を当日配ることにしました。



九月二十四日薄ぐもり、十二時半から整理券配布に長い行列が出来ました。

二時奥田事務局長の司会で冷泉貴実子氏の講演が始まりました。

藤原俊成・定家のあと、為家の後妻阿仏が賢夫人で、息子の為相が冷泉家を起した際、相続をめぐる本家とのトラブルが起き、為相の遺言状の効力を鎌倉幕府に認めさせました。十三世紀に日本はすでに法治国家であったことは驚くべきことで、世界に類を見ないこと。京都の文化の中心は御所(宮中)の年中行事から来ているものが多いこと。

冷泉家は和歌を司る家だったので、争乱に巻き込まれなかった。二条・京極両家のような

(二頁より)一同ホッと胸をなでおろしました。

無事にコンサートを終了出来ました事を、観客の皆様、縁の下の力持ち、スタッフの方々、又、何よりも素晴らしい演奏を聞かせて下さった宮崎氏、眞玉氏に心から感謝申し上げます。

邦楽のしらべ実行委員会

佐野 史瑞子

一流の家系は争乱でつぶされたが、冷泉家が今迄続いたのは一流の家でなかったから。

家元という制度は矛盾がいっぱいあるが、家元制度のせいで貴重な美術品が残されたこと。

戦後五〇年ほどの間に、政府が古いものを捨てる捨てると云っていたのを、今は守れ守れと全く反対のことを云うと貴実子さんのお母様が憤慨された由。

五〇年の間だけでこれだけ社会が変わるのに、今まで八〇〇年守ってきた伝統を、今後八〇〇年は守っていきますと一時間半にわたり話された。

はじめて耳にするお話ばかりでもしるく、満員の客席から大きな拍手をいただきました。

第九回 区民文化祭開催



第九回 区民文化祭の

「区民の作品展」が金沢地区センター

体育館で、平成九年十月二十二日から二十六日まで開かれました。

例年どおり書道八十四点・絵画七十九点・文芸四十一点の出品、手工芸十二団体が参加、華を添えました。

文化協会PRコーナーには、長浜ホール開館記念事業や、文化講演会

「冷泉家の伝統と文化」の写真やプログラムなど、その活動内容をアピールしました。

今回は、会場設営の際、体育館の床に敷くゴムシートを、軽い白いビニールに替えました。手間ははぶけたことも大きいですが、何よりもよかったです。天井の照明が床のビニールに反射し、会場が非常に明るくなりました。出品作品にも効果がありました。

次回からもこのビニールを使いたいものです。

十月二十五日には会場で氏家総子さん達(児童文化部)が児童アート教室を開催しました。

身近な牛乳パックを使っでの工作を指導されました。

文化協会PRコーナーには、長浜ホール開館記念事業や、文化講演会

区制50周年記念事業 文化協会主催行事予定

◎5月16日(土)

金沢区郷土芸能まつり

於金沢公会堂

当日午前金沢区役所主催の区制50周年記念式典が行われ、そのアトラクションとして参加する。和太鼓と木遣・囃子・民謡など。

◎8月19日(水)～23日(日)

全金沢区民大絵画展

於金沢地区センター

区内在住・在勤・在学者を対象に、絵画作品全般を募集。展覧会場において入場者の投票により表彰する。

(詳細は広報かなざわにて後報)

理事会だより

- 7・23 長浜ホール開館記念行事収支報告・区制五〇周年記念行事の文化協会関係イベント内容報告
- 8・27 文化講演会「冷泉家の伝統と文化」を金沢区役所・NHKと共に主催することになった。その運営は文化協会が担当。役割分担、全会員に資料郵送すること、9・10区役所会議室で主催三者の打合せ開催。五〇周年記念行事「邦楽のしらべ」吹奏楽フェスティバル」予算審議。区民文化祭作品展の経過報告
- 9・17 五〇周年記念行事進捗状況経過報告・区民文化祭作品展経過報告・文化講演会「冷泉家の伝統と文化」当日の運営はすべて文化協会一任、担当者のスケジュール確認・文化協会後援事業の申請方法について説明。
- 10・22 文化講演会(9・24)報告・区民文化祭作品展開催中・五〇周年記念行事「邦楽のしらべ」予算の内容検討了承・「吹奏楽まつり」「和太鼓と郷土芸能まつり」「大絵画展」「大合唱祭」を進行中。
- 11・19 五〇周年記念行事「大絵画展」実施計画書を委員会へ提出。「邦楽のしらべ」曲目、出演者決定・「吹奏楽フェスティバル」出演団体決定・文化協会本年度収支見通しについて
- 12・17 六浦地区センターが来年5月にオープン、平等副会長が運営委員就任・五〇周年記念行事進捗状況経過報告
- 10・1・21 五〇周年記念行事準備体制報告・10年度総会は4・26に決定。

会員アラカルト

- ◎文化協会写真部主催第三回わたしたちの金沢写真展が9・9・11～5区役所内区民ホールで開催。48名67点と今までで最高の点数が出品された。
- ◎協合理事西川舞寿美さんは9・9・18日本舞踊協会神奈川県支部三周年記念公演で東京国立大劇場に出演された。
- ◎第十七回音楽のつどい演奏会が区民文化祭参加で9・10・26 金沢公会堂で29団体が参加して開催された。
- ◎富岡コール三十周年記念演奏会(クリスマスコンサート)が9・12・5 県立音楽堂にて開催された。
- ◎金沢三曲会結成二十周年記念演奏会が9・11・3 金沢公会堂で開催。金沢区役所共催。
- ◎金沢まつり花火大会写真コンクールの結果が9年12・15発表された。入選2点 加藤千之輔、入選2点 朽津貞三郎。お二人とも写真部個人会員。加藤さんはこれで三年連続の入選。
- ◎金沢フォトクラブは1・12～17区役所区民ホールにて「ふれあい金沢写真展」を開催。区内の景勝地の写真四〇〇枚を掲示した。
- ◎写真部個人会員の集まり「文協フォトサロン」の第2回写真展が3・24～29 金沢地区センターロビーで開催される。来場歓迎。
- ◎ザ・キミックスがジャズとラテンのコンサートを金沢産業振興センターホールで6・7午後1時より開催。来場歓迎。
- ◎佐野史子・純子(邦楽)7・16(木)12時15分より区役所区民ホールコンサート。来場歓迎。

賛助会員

(有) 高松写真商会

賛助会員

(株) 東洋信号通信社
印刷事業部

会員プロフィール ⑤

どろんこ

「土もみから本格的に」という条件で区民陶芸教室として誕生
 当時は区役所会議室で五十人ほどの人たちがかなり厳しい課題にもかかわらず一人の脱落者もなく、週一回半年間のカリキュラムを終えました。

その後自主運営という形となり現在に至っています。

二十五年という歳月はさすがに長く、誕生以来のメンバーも夫々の事情で一人減り、二人減り、残った人も年齢の為、休みがちとなっています。

その間新しい人たちが仲間に加わり、経験の長短、老若男女に関係なくお互い刺激し合いながら、楽しく

金沢茶道会

当会は、金沢地区センター開館(昭和五十五年)。

金沢区長より和室が出来たので、発会式に茶会との申し出があり、区内在住の教授資格者に声をかけ、金沢茶道会を設立。

現在会員三十名、春・秋二回、センター和室・ロビーで区民の皆様と茶の湯を楽しんで今回三十六回目を迎えます。

頭脳・目・手・指それに口までも働かせて各々作品を作っています。会のモットーは「創造性豊かなマチュアであり続けよう」と言うこと

六浦吟詠会

設立1964年4月/会員数 現在220名(会員数85名・女性135名) / 会費 月額¥1300 / 入会金(総本部年会費として) ¥2000 / 会報年2回発行/ 教場 六浦睦会館、他各地元・集会所等/ 六浦吟詠会所在地 小泉会長宅 会員募集・行って居ます、入会条件・なし・何時でもどなたでも老若男女を問いません。

詩吟は難しいものではありません、

茶券代五〇〇円当時と同じですが、毎年区の善意銀行に寄付を致して居ります。

当時は今日のように多くの文化サークルがありませんので、区長を名誉顧問に頂き、区の行事に参加。称名寺の野点・泥亀公園・富岡牡丹まつり、又金沢ライオンズクラブ新緑の茶会、産業振興センター体育館にて区の学生茶道部、琴の会等と今年で五回目になります。

文化協会設立にあたり茶道会も団

とで、基本的には作る物に禁止、制限は設けずのびのびと「土」と向かい合っています。

その為、作品も「器」とどまらず「照明器具」、「傘たて」、など広く生活と結び付いたものとなっています。

前 仲 邦 哉
 七八三二二三一

老若男女問わずどなたでも出来ます。

教本により漢詩・和歌・俳句・新体詩等を出して朗詠するのです、簡単に覚えられます、各教場の先生の指導に従って、楽しく勉強して居ります。歴史及び昔の詩人等解明に役立ち、ストレス解消になり、健康にも大変よいことです、是非お気軽にお問い合わせ下さい、お待ちしております。

代表者 小 泉 千代治(岳晋)

金沢区六浦3-1-6-5
 七八一〇六八八

体として所属して早三年。

その間色々の方々の交流で感じましたのは、それぞれの特技が異っても茶道の「和敬静寂」の精神と同じであることを痛感しました。

これからも区民の為、特に身体障害者の方々に椅子席で、気軽に一服の抹茶の味をたのしく広めたいと思います。

入会希望者連絡先

相 川 宗 文
 七〇一六六一〇

金沢歌謡会

発会して四年目を迎え、第四回目の発表会を七月四日に南公会堂で定

員百名で開催予定です。

「歌は心の故郷」楽しい時、つらい時にも、心を励ましてくれます。歌を通して友達の輪も広がり、心の触れ合いから人生がより楽しくなります。

発表会も参加者が毎年増え続け、区外の方も多く、ステージでの緊張の時は若返りに良いと美声の八十七歳の方もおっしゃいます。

カラオケと言うと、お酒を飲んでという概念がありますが、本当に歌の好きな方は、のどに良くないといただきません。

歌うことが、健康には一番で、好みの歌で歌手顔負けで、日頃の成果をステージに広げます。会長は北村淳(ビクター) 副会長は星野信子(ビクター)・ビクター歌謡音楽研究会(認定講師)、チャリティとして開催、金沢区の善意銀行に寄付しています。

編集後記

事務局 蓮見 町子

昨年の神戸の小学生殺害事件以来、中学生の凶悪事件が続発しています。心の教育を」と為政者はとなえませんが、一朝一夕では解決できない問題なので心が痛みます。

集員 岩瀬昭二・田野 諒・森川淳子
 編集 佐野史瑞子・吉澤政晴